

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2005-253469 (P2005-253469A)

【公開日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-037

【出願番号】特願 2005-118701 (P2005-118701)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の (a) 又は (b) の単離された核酸：

(a) 配列番号：1 2 8 に示されているアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b) (a) のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において発現が低下しているポリペプチドをコードする核酸。

【請求項 2】

以下の (a) 又は (b) の単離された核酸：

(a) 配列番号：1 2 7 に示されているヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b) (a) のヌクレオチド配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において発現が低下しているポリペプチドをコードする核酸。

## 【請求項 3】

以下の (a) 又は (b) の単離された核酸：

(a) 配列番号：127 に示されているヌクレオチド配列の完全長コード化配列を有する核酸；及び

(b) (a) のヌクレオチドと配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において発現が低下しているポリペプチドをコードする核酸。

## 【請求項 4】

以下の (a) 又は (b) の単離された核酸：

(a) ATCC 寄託番号 203536 で寄託されている DNA の完全長コード化配列を有する核酸；及び

(b) (a) のヌクレオチドと配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において発現が低下しているポリペプチドをコードする核酸。

## 【請求項 5】

以下の (a) 又は (b) の単離された核酸：

(a) 配列番号：128 に示されているアミノ酸配列のシグナルペプチドを欠くものをコードするヌクレオチド配列を有する核酸；及び

(b) (a) のヌクレオチドと配列と相補的なヌクレオチド配列からなる核酸とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において発現が低下しているポリペプチドをコードする核酸。

## 【請求項 6】

配列番号：128 に示されているアミノ酸配列をコードするヌクレオチド配列を含んでなる、請求項 1 に記載の単離された核酸。

## 【請求項 7】

配列番号：127 に示されているヌクレオチド配列を含んでなる、請求項 2 に記載の単離された核酸。

## 【請求項 8】

配列番号：127 に示されているヌクレオチド配列の完全長コード化配列を含んでなる、請求項 3 に記載の単離された核酸。

## 【請求項 9】

ATCC 寄託番号 203536 で寄託されている DNA の完全長コード化配列を含んでなる、請求項 4 に記載の単離された核酸。

## 【請求項 10】

配列番号：128 に示されているポリペプチドであって、そのシグナルペプチドを欠くものをコードするヌクレオチド配列を含んでなる、請求項 5 に記載の単離された核酸。

## 【請求項 11】

請求項 1 ないし 11 の何れか 1 項の核酸を含んでなるベクター。

## 【請求項 12】

請求項 11 のベクターで形質転換された宿主細胞によって認識されるコントロール配列と、作用可能に連結した請求項 11 のベクター。

## 【請求項 13】

請求項 11 のベクターを含んでなる宿主細胞。

## 【請求項 14】

前記細胞が CHO 細胞である、請求項 13 の宿主細胞。

## 【請求項 15】

前記細胞が大腸菌である、請求項 13 の宿主細胞。

## 【請求項 16】

前記細胞が酵母菌である、請求項 13 の宿主細胞。

## 【請求項 17】

請求項 11 のベクターによってコードされているポリペプチドの発現に適した条件下で請求項 14 の宿主細胞を培養し、該細胞培養より前記ポリペプチドを回収することを含んでなる、前記ポリペプチドを産生させる方法。

【請求項 18】

以下の (a) 又は (b) の単離されたポリペプチド：

(a) 配列番号：128 に示されている アミノ酸配列を有するポリペプチド；及び

(b) (a) のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列 を有し、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において 発現が低下しているポリペプチド。

【請求項 19】

以下の (a) 又は (b) の単離されたポリペプチド：

(a) ATCC 寄託番号 203536 で寄託された DNA の完全長コード化配列によってコードされているアミノ酸配列 を有するポリペプチド；及び

(b) (a) のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列 を有し、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において 発現が低下しているポリペプチド。

【請求項 20】

以下の (a) 又は (b) の単離されたポリペプチド：

(a) 配列番号：128 に示されている アミノ酸配列のシグナルペプチドを欠くアミノ酸配列を有するポリペプチド；及び

(b) (a) のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列 を有し、かつ正常な直腸と比べて直腸腫瘍において 発現が低下しているポリペプチド。

【請求項 21】

配列番号：128 に示されているアミノ酸配列を含んでなる、請求項 18 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 22】

ATCC 寄託番号 203536 で寄託されている DNA の完全長コード化配列によってコードされているアミノ酸配列を含んでなる、請求項 19 に記載の単離された ポリペプチド。

【請求項 23】

配列番号：128 に示されている アミノ酸配列のシグナルペプチドを欠くものを含んでなる、請求項 20 に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項 24】

異種アミノ酸配列と融合した請求項 18 ないし 23 の何れか 1 項に記載のポリペプチドを含んでなる、キメラ分子。

【請求項 25】

前記異種アミノ酸配列がエピトープタグである、請求項 24 のキメラ分子。

【請求項 26】

前記異種アミノ酸配列が免疫グロブリンの Fc 領域である、請求項 24 のキメラ分子。

【請求項 27】

請求項 18 ないし 23 の何れか 1 項に記載のポリペプチドと特異的に結合する抗体。

【請求項 28】

前記抗体がモノクローナル抗体、ヒト化抗体、又は、一本鎖抗体である、請求項 27 の抗体。